

報道関係各位

2023年2月9日
株式会社 LIXIL

LIXIL で国内初の PPA[※]モデルによる太陽光発電設備を 2 工場に導入

株式会社 LIXIL（以下 LIXIL）は、LIXIL Water Technology Japan（以下 LWTJ）の生産拠点である大谷工場と尾道工場に、CO₂ 排出量削減の一環として再生可能エネルギーの活用を推進するため、オンサイト型 PPA[※]モデルによる太陽光発電設備を導入し、大谷工場では 3 月から、尾道工場では 8 月から稼働します。

※PPA は Power Purchase Agreement（電力購入契約）の略であり、PPA モデルとは、PPA 事業者が電力需要家の敷地や屋根等に太陽光発電設備を無償で設置し、そこで発電した電力を電力需要家に販売する事業モデル



大谷工場：外観（左）、製造風景（右）



尾道工場：外観（左）、製造風景（右）

LIXIL は、環境ビジョン「Zero Carbon and Circular Living（CO₂ ゼロと循環型の暮らし）」を掲げ、2050 年までに事業プロセスと製品・サービスによる CO₂ 排出量を実質ゼロにすることを目指しています。この実現に向けた 3 つの領域のひとつに「気候変動対策を通じた緩和と適応」を掲げ、事業で使用する電力の 100%を再生可能エネルギーにすることを目指す企業イニシアチブ「RE100」に参加し、再生可能エネルギーの活用を促進しています。

LWTJ では、洗面化粧台の生産工場である大谷工場と、水栓金具の生産工場である尾道工場のそれぞれの屋根に PPA モデルによる太陽光発電設備を導入することを決定しました。今回、PPA 事業者が 2 工場に太陽光発電設備を設置し、そこで発電された電力を工場が購入して自家消費するオンサイト型 PPA モデルを採用しています。

世界各国で企業の事業拠点における再生可能エネルギーの活用が進む中で、新たな再生可能エネルギー設備に対する投資を促す効果がある“追加性(additionality)”の考え方が重視されています。当社におい

ても、再生可能エネルギーの利用に加えて、社会に再生可能エネルギーを普及させることへの寄与が求められます。

そこで LIXIL では、再生可能エネルギーの調達方法において、オンサイト型 PPA モデルによる太陽光発電設備をはじめとした”追加性”が高い手法の導入を積極的に検討していきます。

太陽光発電設備の設置による大谷工場における発電見込量は 392MWh、発電設備能力は約 358kW、尾道工場における発電見込量は 331MWh、発電設備能力は約 319kW です。これにより、CO₂ 排出量は年間約 321t 削減できる見込みです。

LIXIL ではこれからも、世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現と持続可能な社会へ貢献するべく、環境ビジョン 2050 の達成に向けて取り組んでまいります。

About LIXIL

LIXIL は、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEM をはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約 55,000 人の従業員を擁し、世界 150 カ国以上で事業を展開する LIXIL は、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で 10 億人以上の人びとの暮らしを支えています。

株式会社 LIXIL（証券コード: 5938）は、2022 年 3 月期に 1 兆 4,286 億円の連結売上高を計上しています。

LIXIL グローバルサイト：<https://www.lixil.com/jp/>

LIXIL Facebook（グローバル向け）：<https://ja-jp.facebook.com/lixilglobal/>

LIXIL Facebook（日本国内向け）：<https://www.facebook.com/lixilcorporation>